

★神戸の催し物ご案内

2月

△音楽▽

★バーチャルコンサート

フィンランディア・トリオのタペ

2日(金) 7時 県民小劇場

二〇〇〇円

★館野泉ピアノ公開レッスン

3日(土) 7時 県民小劇場

一〇〇〇円

★山口百恵

4日(日) ①12時半 ②3時半
神戸文化大ホール S・四〇〇〇円

円 A・三〇〇〇円

★貴志悠子フルートのタペ

5日(月) 6時半 県民小劇場

九五〇円

★アート・ブレイキーアンドジ・スマッシュセンジャーズ

6日(火) 6時半 神戸文化中ホール S・三〇〇〇円 A・二五〇〇円

きけよみがえる神戸サウンド
伊集院良

★伊集院良

6日(火) 6時半 神戸文化中ホール S・三〇〇〇円 A・二五〇〇円

★糸清水テノール独唱会

10日(土) 7時 県民小劇場

二〇〇〇円



伊集院 良



宮田 隆

★マッコイ・タイナー

3月4日(日) 6時半 県民小劇場

二〇〇〇円

★糸清水テノール独唱会

10日(土) 7時 県民小劇場

二〇〇〇円

神戸能楽教室のご案内

前回演能の熊野
施・狂言をより一層ご理解していただ
くための教室を始めました。

★第一回 「高め」藤
井徳三「葵上」吉井順一、狂言「筆筆」

会費八千円(三回通し)申込先神戸っ子

会員、澤駒藏、京山小彌娘、松浦四郎若

希望の方は電話か葉書で神戸っ子編集室へ優待係へ川崎まで

ご希望の方は電話か葉書で神戸っ子編集室へ優待係へ川崎まで

ご希望の方は葉書に住所・氏名・
年令・職業を明記の上、神戸っ子編集室「デュオのタペ」係、「狂言小劇場」の係まで

ご希望の方は葉書に住所・氏名・
年令・職業を明記の上、神戸っ子編集室「デュオのタペ」係、「狂言小劇場」の係まで

ご希望の方は葉書に住所・氏名・
年令・職業を明記の上、神戸っ子編集室「デュオのタペ」係、「狂言小劇場」の係まで

ご希望の方は葉書に住所・氏名・
年令・職業を明記の上、神戸っ子編集室「デュオのタペ」係、「狂言小劇場」の係まで

ご希望の方は葉書に住所・氏名・
年令・職業を明記の上、神戸っ子編集室「デュオのタペ」係、「狂言小劇場」の係まで

ご希望の方は葉書に住所・氏名・
年令・職業を明記の上、神戸っ子編集室「デュオのタペ」係、「狂言小劇場」の係まで

△演劇▽

★内山洋とクールファイブ

23日(金) 6時半 神戸文化大ホール

民音/会員、二三〇〇円

名正

27日(火) 6時半 神戸文化中ホール

前売/A・二〇〇〇円 B・一六〇〇円

★第11回じざい音楽会

布野ゆき子・坂本環

28日(水) 6時半 神戸文化大ホール

前売/A・二〇〇〇円 B・一六〇〇円

★劇団四紀会「湯満のとらやん」

12日(月) 1時半 九〇〇円

13日(火) 1時半 九〇〇円

14日(水) 6時半 九〇〇円

15日(木) 6時半 九〇〇円

16日(金) 6時半 九〇〇円

17日(土) 6時半 九〇〇円

18日(日) 6時半 九〇〇円

19日(月) 6時半 九〇〇円

20日(火) 6時半 九〇〇円

21日(水) 6時半 九〇〇円

22日(木) 6時半 九〇〇円

23日(金) 6時半 九〇〇円

24日(土) 6時半 九〇〇円

25日(日) 6時半 九〇〇円

26日(月) 6時半 九〇〇円

27日(火) 6時半 九〇〇円

28日(水) 6時半 九〇〇円

29日(木) 6時半 九〇〇円

30日(金) 6時半 九〇〇円

31日(土) 6時半 九〇〇円

1日(日) 6時半 九〇〇円

2日(月) 6時半 九〇〇円

3日(火) 6時半 九〇〇円

4日(水) 6時半 九〇〇円

5日(木) 6時半 九〇〇円

6日(金) 6時半 九〇〇円

7日(土) 6時半 九〇〇円

8日(日) 6時半 九〇〇円

9日(月) 6時半 九〇〇円

10日(火) 6時半 九〇〇円

11日(水) 6時半 九〇〇円

12日(木) 6時半 九〇〇円

13日(金) 6時半 九〇〇円

14日(土) 6時半 九〇〇円

15日(日) 6時半 九〇〇円

16日(月) 6時半 九〇〇円

17日(火) 6時半 九〇〇円

18日(水) 6時半 九〇〇円

19日(木) 6時半 九〇〇円

20日(金) 6時半 九〇〇円

21日(土) 6時半 九〇〇円

22日(日) 6時半 九〇〇円

23日(月) 6時半 九〇〇円

24日(火) 6時半 九〇〇円

25日(水) 6時半 九〇〇円

26日(木) 6時半 九〇〇円



加藤 剛

●愛読者招待席
神戸っ子読者左記の催しに招待
★浦川宣也/バイオリン
フランツ・ルップ/ピアノ
デュオのタペ

3月17日(土) 6時半 明石市民会館中ホール(10名様)

★狂言小劇場
中ホール(20名様)

出演/茂山千五郎・茂山千之丞・
茂山正義・古谷哲也・藤舎推峯

ご希望の方は葉書に住所・氏名・
年令・職業を明記の上、神戸っ子編集室「デュオのタペ」係、「狂言小劇場」の係まで

★狂言小劇場
中ホール(20名様)

出演/加藤剛・大塚道子ほか

ご希望の方は葉書に住所・氏名・
年令・職業を明記の上、神戸っ子編集室「デュオのタペ」係、「狂言小劇場」の係まで

●愛読者招待席
神戸っ子読者左記の催しに招待



パリ夜会とアトリエへ

★月刊神戸つ子・パリツアーカラ

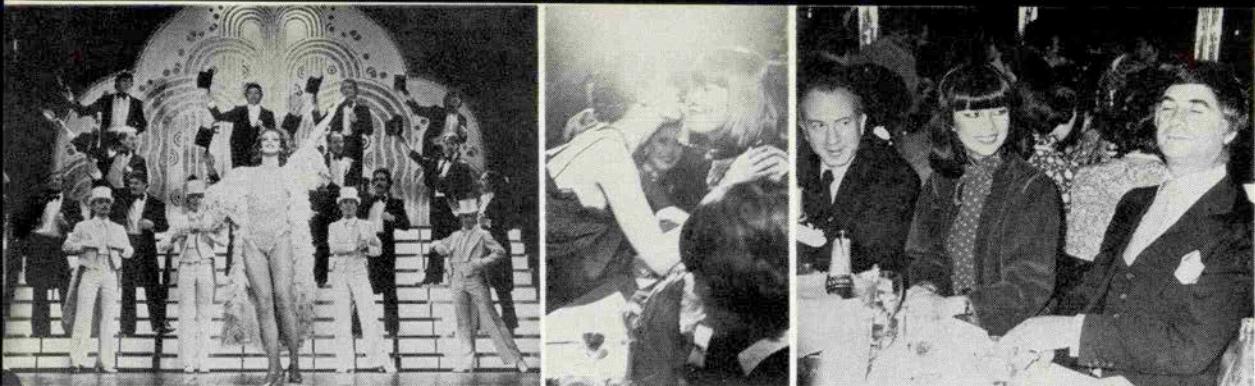
●日航主催のパリ夜会に加って

パラディイラタンの
夜は更けて

二十数年ぶりにお正月のテレビ
でフランス映画「肉体の悪魔」を
観た。ああ！懐いジエラール・
フィリップ。こんなに良い映画だ
つたのかなあ。少女時代に観た時

のシーンの記憶からは感じられな
かった深い味わい。監督クロード
・オーランララの名作。
女優ミシェル・ブレーヌの女つ
ぼさ。肩のはつたスースに、羽つ





左上「パラディラタン」のショー。タカラズカと違うのは男がホンモノ。中はシルビアクリスティにキスされる大里さん。お客さまのワイセンベルク。松本弘子。ブリアリ。右左は大内順子。クロージェーヌ・オージュ。デビ夫人。ドモンジョ。右ファッションショー。

ついたキヤノチエの網が、美しい
プロフィールに愁いを落して……。

あれっ！なんだこのファッショ

ン。十二月の二日にパリのパラデ

イラタンの夜会で観かけた「エマ

ニエル夫人」のシルビア・クリス

テルの帽子と一緒に。ドレスは黒で

横顔は白くアンニュイだったけれど

と思い出した。ジエラール・フ

ィリップとよく共演していたジャ

ン・クロード・ブリアリの、少し

銀髪のまじった中年のいい男の姿

もあるバーティで、ピアニストの

アレクシス・ワイセンベルクと松

本弘子と三人並んでいたつけ。今

年は紅白歌合戦でも山口百恵を始

め、あの手の帽子が流行っていた。

ファッショーンは、ノスタルジイの

世界を、どこか新しげに復活してや

くる。うちの編集部の中村ちゃん

だつてトア・ロードのマキシニさ

んでプレゼントされた紺のシフォ

ンのキャノチエに羽をなびかせて

パリの夜会に参加したのだもの。

デビ夫人や、ミレーヌ・ドモンジョや、クロージェーヌ・オージュ、大内順子さんの華やかな姿に眼を見張つてそれとばかりにカメラを向け、サインを頼んで、それをきっかけにどつとばかりにファンがテーブルを囲んで大混乱おかしかったなあ。

岡田真澄の司会で、パリコレの主役たちのショーがくりひろげら

れ、私はなぜか三宅一生のゴールドだけのファッショーンが印象にのこっている。そして、不景気さをふつとばそうとして、色はカラフル珍道中のような楽しさを感じられるショードラ。うつとうしい時代をディスコで踊つてぶつとばそうとしているのかな。

真帆しぶきと岡田真澄が共演して東京の博品館での上演に先がけて「シーソー」を30分に短縮して見せてくれた。スターはさすがにパリでも垢ぬけして見えた。

プレゼントタイムにわがチームの「魔女」の大里最世子さんがシルビア・クリスティから賞をうけてホツベにキスを。ラストにパラディ・ランタンの主役。この五〇〇人入る小屋を持ち演出・出演をするジャン・マリー・リビエールが、シユバリエのように巴里の粹を見せるエンターテイナーぶり。

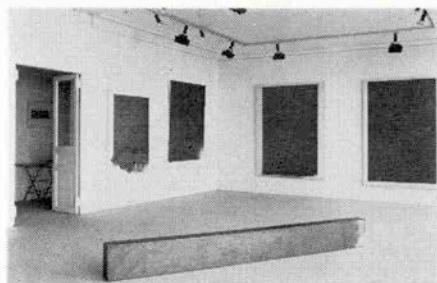
かぶりつきで見ていた私はショーガが始つてびっくりしたつけ。今までディナーのウエイターだった男性まで出演してウインクして見せるのだから。小屋中の仕掛けが面白く、出演者の白、黒、黄色の人種雑多ぶりと、男が女か、女が男か、混沌の摩訶不思議。あのエネルギーの油っこさ、日本人のお茶漬の味でなく、肉食人種の違ひと判つたのは、パリの市場の凄さを見てやつと納得したのだ。(小泉美喜子)

神戸の画家達 パリで出会った

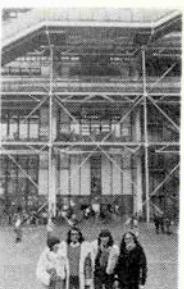
「パリと言えば芸術の都。数えあげればきりがない程の画家の名が思い浮かぶ。ピカソ、ユトリロ、ロートレック、佐伯祐三、藤田嗣治、ローランサン……そしてルーブルをはじめとするこれまた訪ねていけば何日間も費やすだろう数々の美術館……過去現在多くのアーティストが息づいた町に、自分が立っていると考えただけで、零下何度という寒さも忘れる五日間のミニパリ旅行の、最大の収穫は、パリ滞在中の神戸のアーティストのアトリエを訪れたことだろう。

単なる旅行者だったら、とても行けないアパートマンに、その生活をかいま見れただけでも、印象深く有意義でした。そのひとこまを……。

サンジエルマン・デ・プレからTEL。「もしもし……」という訳で12月4日ボンビードー美術館のご案内をお願いした松宮武判氏は、在パリ10年。奥様のキヤトリースさんも版画家という二人は、メトロバスチーユ(そらあの革命のあつたバスチーユ)にアトリエと住



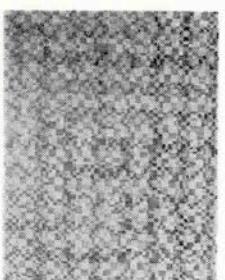
ギャラリーアランウーダン(パリ・レアル)松谷武判個展



ポンピドー芸術センター

目に入る色の世界を一步進めたものであった。

ポンピドー芸術センター訪問後に松谷氏のアトリエを訪ねたのだ



無題78-12 郷相和

が、これには、デュッセルドルフという、床にニスがたっぷり流れこんだ古い古いアパートが今は二人のアトリエで、Xマスクカード大のシルクスクリーンが今制作中でした。ご主人の松谷氏は個展を終えたばかり、少し離れた自宅で拝見した近作は鉛筆でドローイングした作品(写真)ただし流れると題して流れされた鉛筆の跡は昔から松谷氏の追求しているコンセプトと同じで、あのパリの色を使つたシルク版画から白黒の世界へと

は鄭相和氏にTEL。「そんなに大勢いるのなら我が家へ……」といふ訳で、一堂してピガールへ。モンマルトルビガールというところは鄭相和氏に「そこは知る人ぞ知る繁華街。夜の町なのです。鄭さんは神戸にいた時は新開地の映画館の上にお住いだった……」ことを思い出し、またしても同じ環境のところに住んでいはると思うと何となく人柄がじみ出てドアに入る前から嬉しくなる。パリという町は中庭のあるアパートマンが多いが、この素晴しい環境?と背中合せとは思えない。またすごく上品なアパートマンで相変わらず「ボソボソ」と静かに話をする鄭さんと一年ぶりの再会。鄭さんは神戸に住む前はパリに住んでおられたから、延べにしては

パリ在5年位とか。

モノトーンの世界は昔からだ

が、今は鉛筆でのドローイングで白黒のモザイクで画面をおおうよ

うな作品とか貼り込む作品とか、制作試作三昧の毎日。勤勉な氏らしく朝から晩までキャンバスに向かっている。久しぶりの再会に三人のアーチストの話がはずみ(健

康法、ヨガの話、野球の話からとて真剣な芸術論まで)私たちの最後の晩(5日の夜)また鄭氏のアトリエで食事をということになつた。

植松氏は同じくモンマルトルに住む神戸出身魚田氏のアトリエへ行き(植松さんは今年は忙しい年になりそうだとか。ドクメンタも終わりフリーのキューレーター達の訪問も多かつたらしく展覧会の予

定も大体決まり、9月には神戸に一時帰国する話もある)

そして名残りの晩。遅れて鄭さん宅へ行つた植松さんと私はビックリ、な、なんと神戸新聞の伊藤誠氏がいるじゃありませんか。まるで外国とは思えない楽しい晩にモンマルトルで活躍中の長尾さんという画家も参画して飲んで語つて……。

ただ、やはり外国での暮しは、た目で見る以上に厳しいことは事実で、制作自体には日本にいるよりいい状態でとり組めるが、それに生活するという事実が入りこんでくると厳しさに磨きがかかるようです。

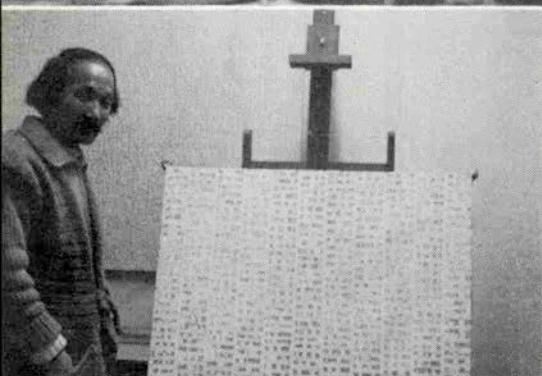
実力派の人間がこれだけ集つて世間話の中にチラッチラッとこぼれる厳しさは旅人的な状態で聞いて

いる私たちには書きつくせませんが、それでも根っからの神戸っ子達らしく意欲的で明るくカラツ

している人々と作品に会うことができ、とてもラッキーでした。日本では個展というのは、画廊にお金を払いその場所を借りれば例え

それが欧米ではフリーのキュレーターが活躍して企画展を組み展覧会の数も少ない。それだけに発表する数やチャンスに限りがある。どちらのシステムも一長一短だが頑張つてほしいという気持ちだ。

買物も、ショールも、町も、人も恵まれすぎたこの5日間。よその人が住むには住みにくくと定評のパリ、及びデュッセルの芸術たちの健康と活躍をそして再会を楽しみにしています。△中村雅子▽



上：鄭さん宅にて深呼吸の方法を聞く。

中：鄭さんは、モノトーンの世界を追求中。

下：松谷さんの住まいにて、近作を囲んでいチーズ。



神ちゃん、お熱いタツチング

動物園飼育日記

亀井一成

ほんまもんチンパンジーへの特訓 〈VI〉



「あれ、神ちゃんが一人いる！」

「ほんまや！」いつの間に、ふたりになつたんや！」入口からまつ先にとんでもくる神ちゃんファンの小学生たち、

口を揃えて、

二匹で

はなく

ふたり、

といつ

てくだ

さつて

いた。

哺乳

ビンで

ミルク

を飲み

スープ

一カ一

やボーリ

形を持

つて遊

び、同じ年頃の小学生には我然ライバル意識をむきだしオリの内と外でやりあつていたその神ちゃん（明けて五才）に昨年十月お嫁さんのアキちゃんがやつてきたことをうつかり忘れていたのである。

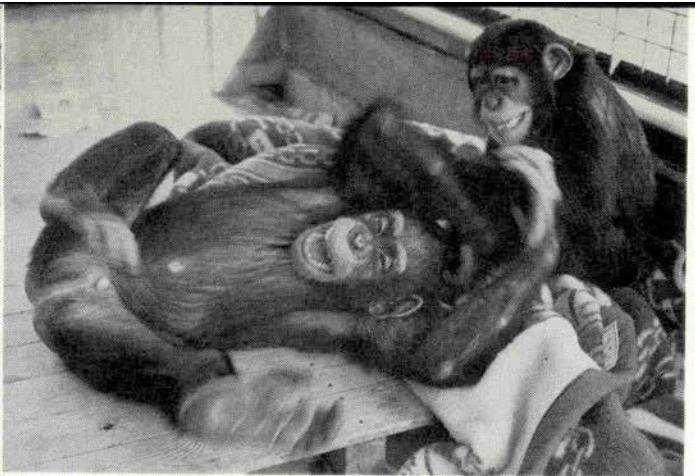
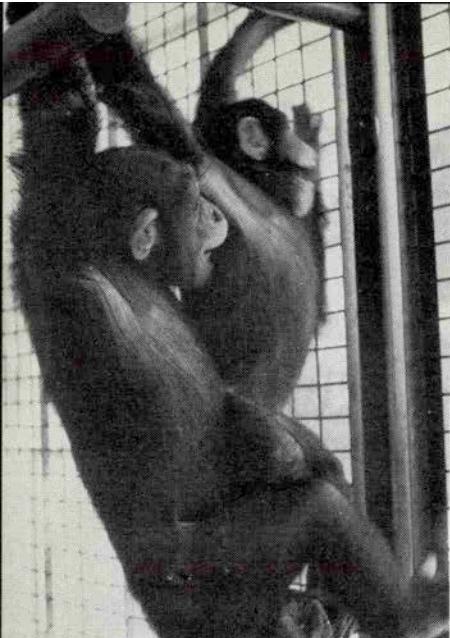
いつものよう、大声で「神ちゃん、神ちゃん！」その呼びかけが終わらぬうち、さ——つ眼にも止まらぬ猛ジヤンプ。久しぶりの学童たちに何やら声さえ出して身体を寄せる神ちゃん。三人連れのどの児もが頗いっぽいの笑いで神ちゃんに呼びかけていた。

だが、その直後、すぐなく、反転したと思うと、さつと、もうひとりの神ちゃんいやアキちゃんの元へ、すつとんで行った神ちゃん。こんどは、そろりとやさしく、そのアキちゃんを抱きはじめたのである。

「あつそうや、去年の暮れ、神ちゃんにガールフレンドがきたこと新聞やテレビで見たことある。おい神！」（呼び捨て）ええぞう！」うれしい声援が暫く続いた。

〔泣きべソに弱い男の子〕

その日はからずもアキちゃん到着して満三ヶ月め、あれほどヒトの近づくのを嫌いオリの中へ入った僕に驚いてウンチを出して、いたそのアキちゃん、なんとまあ！おでんばこの上なし、ちよつと神ちゃんに抱かれたあとダンダンダンダン、この子ほんまに女の子やろか！とうたぐりたくなるほど、両足広げあられもない姿、力まかせ



にしこ踏み運動。そしてばつ！と、いま神ちゃんに呼びかけていた、その学童めがけで、とび蹴りをぶつけてきた。

「あー恐ろしい。こいつほんまに女の子やろか！神！こんななやつに負けたらあかんぞ。それ頑張れ、やつつけてまえ！」

もはや学童たちには目もくれず、神とアキは、取つ組みあいの仲むつまじさ。その二人にこんな声援がどんでいた。

そして暫くののち、『キヤーッ』ちょっとと小さいアキが泣き声あげたと思えば、とたんに神は、そのアキを、ぐいっと胸いっぱい抱いてやつてゐるじゃありませんか。

いや、そればかりじやあれしまへん。食事時のマナーなんか、もう、なにがなんだか分らん行動を見せるアキである。つい最近にもNHK科学ドキュメントで放映されたチンパンジーとその生活行動の一場面。『食事時の先取り権』という解説である。確かに当園の成獣たちにも見られる行動の一端でもある。先に手にした者の権利が認められ、それを横取りすることがないという説。

ところがである。満三才、少なくとも野生のルールを身につけてきたアキちゃん。欲しいとなると、さつと神ちゃんの口元からでも横取り、かつさらつては食べてしまうのである。なんといふこやつ。

「コラ！アキ、あかんぞ！」

怒鳴りつけてやつたらとたんに、キヤーッ大げさな泣き声。それにつられて、女の子に弱い神ちゃん、何を置いても、またぞろ、そのアキちゃんを抱きかかえてやるのである。

〔身体で示しあうタッチング〕

ところでそのアキちゃん、手をとり足をとつてのご機嫌取り飼育の毎日。にもかかわらず、27キロと重たくなった神は抱けても、アキちゃんを抱いてやることは全くできない。格子オリを開けたとたん、さつと逃げ去り、そのくせ私に寄り添う神に相変わらず嫉妬の毎日。遠く

でながめ動かない。いや仔細に見ると、何時の間にやらびの方にじみ寄る彼女、やつぱり神と同じことがして欲しいんや！アキ、そんなに怖がらんでええ、早よおいで！と、差し出す手に、かえつて怖がる。だが、そんな日々のある時、横向きの私に『バチン』何やらビンタがとんできた。あつ痛！誰や！ひよいと振り向いたら、そこにアキがきていた。怖々のアキが生まれて初めて、人の間の身体に触れたに違いない。パチン、パチン、パチン。続けさま私の頭やほほ、肩をたたいてきた。

そのふりあげる手を見て私はうれしくなった。おそるおそるふるう手は冷や汗をかくほど握りしめたまま、しかも手やヒザの外面でやつと私に触れていたからだ。よし、アキ、頑張つてもつともつとどついてこい。こうした毎日が信頼関係を育て、アキは日増しに落ち着きだした。

そして到着来一ヶ月、後ろ向き、そろりと尻から近づいてきたアキ、私のヒザの上にちょここんと座りはじめた。よしよし、アキはやつぱり神よりだいぶ小さいなあ！と頬ずりしてやろうとしたとき、ドーン。神の足蹴りが、またぞろとんできた。『キヤーッ』アキの泣き声。と次にはまるで嘘のよう泣きやんだ。見れば、ちゃんと神が抱いてやつてゐるのである。

こうした相手に対する信頼関係を自分で体験し積み重ねなければならない彼等。その警戒心の強さに胸さえ痛む毎日がさらに進んだ。そして、つい先日の深夜、神とアキの寝床が明らかに近づいている。そろりそろり足音をしのばせ大接近、あつ、やつぱり、神が窓ぎわ、そのうち側に、そして寄り添うように、二人が寝ているじやありませんか。

神ちゃんの性成熟まであと三年。野生を知らない神、たどたどしい足どりで今、ほんまもんチンパンジーへと確かに歩を進めている。神もアキも頑張りや！

△王子動物園学芸員／写真も△

こんにちは赤ちゃん



片山慎哉くん／芦屋市清水町

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大沢町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

幼児歯科 小児歯科

SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日) 火曜日 午前9時30分

金曜日 午後1時30分

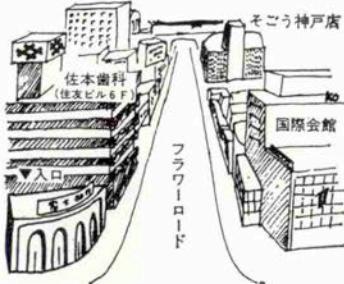
(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口

住友銀行三宮ビル6階

〒650 生田区加納町5丁目39

TEL (078)331-6302~3

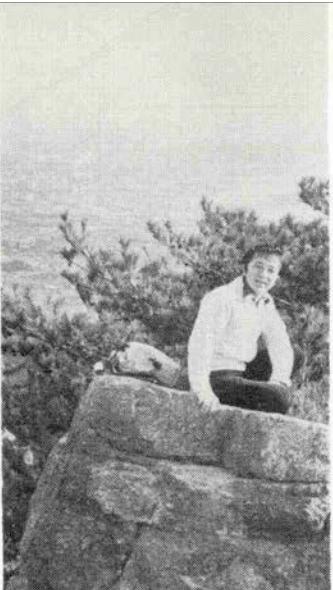


・六甲山100コス

△その7 ▽一般向き
阪急岡本——風吹岩——本庄橋——一軒茶屋——有馬温泉

田辺 眞人 ▽兵庫県立芦屋高等学校教諭▽

魚屋道追想



風吹岩にて筆者

神戸市東端で山に登り、風吹岩・東お多福山を越えて住吉川上流に出、本庄橋ちかくから一気に最高峰の東肩に登り有馬に至る「魚屋道」。この道の名に興味を覚えたのは中学生の頃だった。昆虫採集のために山に登り始めた私は、次第に六甲に心ひかれて、やがて毎週山歩きを楽しむようになっていた。その頃から、昔、この道を通つて灘の人々が有馬へ水産物を運んだというガイドブックの記事が、みように懐い響きを私の心に残していた。やがて郷土史を学ぶようになった私は、古地図や古文書の中でこの山道に再会したのだ。

元禄十四年（一七〇二）の『摂陽群談』は「（六甲）山頭より有馬湯山に越道あつて六甲越と号す……兎原郡森村へ出る所也」といい、寛延元年（一七四八）の『摂津国名所大絵図』は、森村（東灘区本山町森）で西国街道から分岐して山中に入り六甲山上の石宝殿ふきんを通つ

て有馬温泉に通じる山道をくつきり描いている。つまり、ハイカーでにぎわうこの道は、江戸時代初期にさかのぼる最古の六甲越えの通路のひとつであることがわかる。

その頃、灘地方から有馬に行くには、一たん西宮へ出、そこから北の小浜（宝塚市）・生瀬（西宮市）の宿場を経て蓬萊峠の谷を船坂・有馬と進んでいた。そこで灘の村人や有馬の町人は、この大迂回をさけるために山越えの直行ルートを利用するのだが、同時にそれは、街道ぞいの宿場の商人にとっては打撃となる。そこで、寛文十年（一六七二）以来、江戸時代を通じてこの山道の歴史は、最短コースを利用しようとする地元の人たち自らの利益のためにこの山道を抜け荷の道として封鎖させようとする宿場の商人との闘いでいろいろと争はれてゆく。

とりわけ、文化三年（一八〇六）の争論は、現存する古文書によつて、詳らかに再現することができる。訴え出した小浜・伊丹・尼崎・生瀬の商人たちは、「有馬の者が中心となり灘の青木まで三里の山道に、岩山を切り崩し谷川に橋をかける大工事を施して幅四尺から一丈の街道同様にし、日々、牛馬・荷物・旅人が密かに通つている。早速、抜け荷を禁じこの新道を破壊させるべきだ」と訴え出た。被告の有馬町や灘本庄九力村（現芦屋市内および東灘区の三条・津和・森・中野・小路・北畑・田辺・深江・青木）の側では、これは柴刈り道だと谷川の土砂くずれに工事をしたのだと称して、新道修築の工事や抜け荷の件を否定している。結局、約半年後に「新

規道は切埋め切広げ候道は以前の通り細道につかまつれ」と決裁が下っているが、その後もこの道の整備・通行は後をたたず宿場の商人は幾度も大坂奉行所に抜け荷の目撃を訴えている。灘の人々の切実な生活の歴史のみこんだ踏み跡なのである。

明治維新で事情は一変する。自由な交通が始まり、こ



登山者に親しまれた本庄橋もいつの間にか無残に崩れていた。一日も早く修復してもらいたい。左はかっての本庄橋の姿。

の交通路も栄えてゆくかに見えた。だが、近代的交通の発達が皮肉にもこの道をさびれさせるのだ。明治七年開通の大坂・神戸間の鉄道が、三宮と西宮の間では住吉に駅を設けた。すると従来の山道（これまで湯山間道とか六甲越えとよばれた）では鉄道との接続に不便である。そこで住吉川をさかのぼって駅から谷ぞいの道が拡張され、本庄橋で従来の山道に合流して有馬へと旅人は往来始めた。この住吉道にぎわいの一方で、湯山間道は本庄橋から風吹岩をへて森へおりる本道も、途中から分れて保久良山の東の谷を下る支道も、深い草におおわれていった。

祖先たちの智恵は、灘と有馬とを直線的に比較的楽なコースで結びつけた。そのためか今日も、ほぼこの道筋にそつて、東六甲横断の中心的ハイキングコースが通じている。かっての往来を見守つたであろう古い山の神の石祠や役の行者の石像は路ばたの草むらにうずもれて、知る人も少なくなった。が、注意してみると、今の魚屋道ハイキングコースのわきには、しばしば、踏み固められた古道の跡をみつけることができる。また、住吉谷の上流、川と旧六甲越え道の交叉点には深い山中にぽつんと巨大な本庄橋が残っていた。この石造の古橋は、最近まで灘の人々の生活の歴史を秘めて静かに、眠っているようであった。なぜか、山登りの人々は、この橋を見るとなほつとして休息をとつたものである。

本稿の取材のために久しぶりに東お多福山を越えた私は、数年前に崩れたという今のが本庄橋の無残な姿を見て、強い衝撃をうけたのである。



△その8 ▼健脚コース

有馬温泉—湯槽谷山—極楽茶屋—一軒茶屋—百間滝—有馬

冒険ごっこ、また楽し

杉本 昭子 △冒険家 ▽

・六甲山100コース



湯槽谷山頂にて筆者

その日は前日までのぽかぽか陽気とは打って変り、朝から冷え込んでいた。歩けば寒さも吹つ飛んでしまうだ

ろう。落葉山の石畳みの道を登り始める。有馬の人は妙見山と呼んで親しんでいる。西国三十三カ所のお地蔵様を一番、二番と数えながら登つて行く。中段の鳥居をくぐると十六番、やっと半分。しばらく行くと六甲の最高

峰が見える。雪のか頂上付近が白くなっている。階段を登りきるとそこがこの山のてっぺん。大い、ようの木はすっかり葉を落して、はだかんぼう。弟がぎんなんの実を手でつかみ、頭のてっぺんから足の先までかぶれてしまつたことがあつたのを思い出す。近所の子供達との肝試しでは、お化けが何より怖く、夜にはトイレにも

独りでいけなかつた私は、姉にしがみついて登り、ここまで来ると、ころがるように降りていつたことなどなつかしい山である。有馬の子供にとつては廻りの山も川もはすつかり葉を落して、はだかんぼう。弟がぎんなんの実を手でつかみ、頭のてっぺんから足の先までかぶれてしまつたことがあつたのを思い出す。近所の子供達との肝試しでは、お化けが何より怖く、夜にはトイレにも

独りでいけなかつた私は、姉にしがみついて登り、ここまで来ると、ころがるように降りていつたことなどなつかしい山である。有馬の子供にとつては廻りの山も川も

頂上からの海の眺めは抜群であった。大阪湾から和歌山まで見渡せて、海はきらきら金色に輝いて見えた。ふり返りふり返り眺めて来た裏の景色。どこまでも続く山の景色と好対照である。

全てが我家の庭である。家中でままごと遊びなどしているひまがない。女の子たてらに、木登りは朝飯前。強そうな枝を見つけると、縄飛びの紐を結んでターザンごっこが始まる。今はフィールド・アスレチックがたくさんできているが、私達は手製のコースで一日中遊んでいた。もちろんプールもないでの、滝の川が水泳場になる。石を並べて水をせき止めて子供プールの出来上り。夏でも水は冷たく、五分もしないうちに唇がまつ青になる。後は日のよく当る大きな石で身体を暖める。今はもうそこで泳ぐ子供達はいなくなつていて。プールもあるし、六甲トンネルで海が近くなつたからだろう。

落葉山から、灰形山を抜けて、湯槽山に向う。しばらく行くと道に霜柱がたつていて。この山道は登るばつかりで、しんどい。おまけにそこが頂上という所の坂が一番きつい。上を見ていては、足が前に進まない。足自慢の母が、今日はえらくへたつているようだ。頂上で一服して、下りは、一気に湯槽谷まで降りてしまう。

バシャ、バシャ、霜柱の砕ける音がする。昼前だとうのに。やがて、両側に笹が茂る道になる。頂上が近い。それにしても道が荒っている。折れた木が何本も横たわっている。

それにしても寒い。手はかじかむし、耳は切れそろに痛いし、顔はもう引きつっている。北風は、はだかの木にもどんどん霧氷の花を咲かせる。霧氷のトンネルの中では、歩くのをやめるとたちまち凍ってしまいそうだし歩いても歩いても冷い風が、身体の熱をどんどん吹き飛ばしていくようだ。

一軒茶屋でお弁当にした。おにぎりもうまくつかめなかつた手もどうにか暖まってきたので出かけることにす。頂上の寒さに比べたら山道はいくらかは暖かい。魚屋道を降りかけたが、もうちょっと遊んで帰りたいと、吉高神社から四十八滝を通ることにした。ところがしばらく行くと道がずれてしまっている。引き帰した方が良いかなとも思ったが、降り切った先の川原から道が見え

肌を切る冷気のなかで霧氷がとても美しい（白黒写真ではハッキリと判らないのが残念だ）

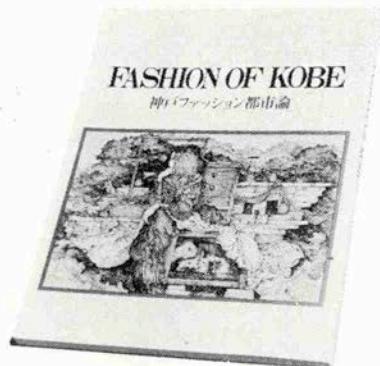


は早い。

神奈高溫泉駅
灰形山
茅ヶ岳
水屋山
有馬
鮎ヶ瀬
夫婦滝
猿
温泉谷山
湯槽谷
百間滝
六甲最高峰
紅葉谷
梅茶屋
一軒茶屋

0.5KM
1.0KM
1.5KM
2.0KM
2.5KM
3.0KM
3.5KM
4.0KM

たので強行突破することにした。冒険ごっこ始まりである。強くつかまり易い木の根を捜し、一步づつ足場を確めてジグザグに降りて行く。「小安相滝」という道標が流れずにあった。滝は埋ってしまったのか、そこに川を渡りながら下って行った。小さな滝がいくつもあるので、滝に来ると山の方へ進路を変え、また川の方へ戻る。しかし渠道はそう長くはない。突然、道が切れてしまっている。今度は前程簡単に降りられそうもない。ここで考えいても仕方がないと勇気をふるい起して絶壁に挑戦する。岩のでこぼこが少ないので、足場を搜すのに一苦労だし、つかまる木がないので、どうしてもへっびり腰になってしまう。ここで弱音をはいては、有馬育ちがすたると悪戦苦闘の末なんとか降り切った。下から見るとまだ上方で従妹が半泣きで岩にへばりついている。なんとか無事降りられた。向い側に比較的大きな滝があった。何という滝なのだろう。しぶきがもう凍つて光っていた。この道がこんなに荒てしまっているのは知らなかつた。この後もう一度難所にぶつかった。母が山猿の本領を発揮して偵察に行つた結果、山の方から越える道を捜すことにする。笹の林にもぐり込む。藤が足にからまるし、つかまつた木が死んでいてつんのめりそうになる。はうようにしてなんとか道らしい道に出た。四時前だというのに、すっかり日が暮れてしまつていた。もう一時間遅かつたらと思うとぞつとする。山の夕暮れ



市内各書店にて好評発売中！

既成市街地の整備と未来の海上都市の建設
あすの神戸、国際情報文化都市の創造を目指して

編集 / 月刊「神戸っ子」

発行 / コミュニティサービス株式会社

(〒650)神戸市生田区東町113-1大神ビル7F TEL. 078-331-2246

いま花ひらくファッショント都市神戸

神戸ファッショント都市の理念をここに凝結

明日の神戸を創る 127人のリーダーが
情熱をこめて語る

FASHION OF KOBE 神戸ファッショント都市論

自己主張のある余暇とファッショント文化

神戸のモダンライフの流れを探る

ファッショント都市は日常生活の集積から
スポーツライフがファッショントをリードする

ファッショント文化に不可欠な創造性

住むのに最高の町、日本の外国、神戸

神戸文化の背景は国際的モダニズム

ファッショント都市づくりの核にメッセ(見本市都市)の設置を

ファッショント都市はショッピングエリアから
ファッショント都市の舞台装置を創る神戸の家具

洋菓子こそ神戸文化のパロメータ

全国の80%を集散する神戸の真珠業界

ファッショントは生活のゆとりのなかから生まれる
トータルファッショントのなかの神戸シユーズ

百年の伝統と世界的技術を誇る神戸の洋服

神戸の生活文化を培うデパートメントストア

ファッショントナブルな神戸の魅力をつくる北野町界隈

世界的な水準を誇る神戸の味覚文化

長期ビジョンをもつたファッショント都市づくりを

ファッショント都市に必要な空港とホテルと見本市会場

ファッショント情報センターの設置が急務

ファッショント都市を創る人材を養成する

豊かな文化が経済活動のエネルギー源となる

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

<神戸のファッション都市化をめざす>

K. F. S. news 41

事務局／神戸市生田区東町113-1
月刊神戸っ子内 TEL (078) 331-2246Christmas
Party '78

78年はディスコ旋風でした。ディスコ・ファッショնなんてファッションも登場、かつアダルト・ディスコなんていう気取ったディスコも作られ大人も大威張りで踊り狂えたこの一年、何でKFSのパーティがディスコ以外の場所で開かれましたか?と、踊り疲れたクリスマス・パーティ'78だったのです。

入り口で男性には金の星、女性には銀の星のバッヂを渡してキラリキラリと胸につけてもらつて、キラリキラリ。ゲームをしたり、賞品がつたりといつものようにパーティーは始まりかけたのですが……。暑かつたですねえというよりも、踊るということがそれはそれだけはねたりしていた人、トラボルタ擬でキマッテた人、「アツイ、アツイ」と繰り返していました。ともかくよく踊りました。勿論サンバの人。

リズムも登場で、その時にはフロアいっぱいの輪に広がつて壁の花ならぬ椅子の重り(お守り?)で食べてばかりいた人も参加。ヘサタデー・サンバ・ビバ・ケーフエス(あとでバンドの人がビバ・KFSは歌いにくいやつといった)とサンバ・デ・コウベの大合唱。最後はその日一番お気に入りのパーティナー(残念ながら見つけられなかつた人は適当に傍にいる人)とブルースで名残りの一曲を踊りました。

良い年の暮れでしたね。



12月15日於サントノーレ北野店

素直に感動したいワ

曾根辰夫 若宮てい子



★スポーツマンのMr.ベースマン

曾根 やあ、久しぶり。今どない

してます。

若宮 去年の11月からNHK・FM放送の番組「朝のポップス」のDJをレギュラーでやっているの。

曾根 その番組は全国向けやね。

若宮 だから沖縄や北海道から便りがくると嬉しいって。でも朝が早いからチョットビリつらいんだけど……。ターゲットは仕事が夜遅いから朝起きるはどう?

曾根 まあー、適当に(笑)

若宮 お酒の方は。

曾根 あんまり飲めない。

若宮 私も。でも雰囲気は好きね。お酒飲んで演奏した方がノレルって聞いたことがあるわよ。本当?

曾根 一度飲んで演ってエライめに会つたことあるんよ。途中で何演つてるのか分らなくなつて(笑)

若宮 「ソネ」って有名なアーチストがよく来るでしょ。去年もスコット・ハミルトンが来て演奏してたね。素敵だったわ。ターゲットはずつとウッド・ベースだけど昔、ピアノ弾いてたわね。あの頃から影ながらあこがれてたのよ(笑)どうしてピアノからベースへ。

曾根 知らないうちに変わったね。中学の頃クラシックピアノを演つてたし小さい時から音楽が好きだった。軽音楽部に入りたいた

めに大学に入ったような位で(笑)

若宮 ター坊は演奏する時、ス

ーツも似合ってるしラフな格好も

してるわね。スポーツマンのイメ

ージが強いんだけど、数年前アラ

スカまでスキーに行つたとか。



若宮てい子さん
NHK・FM、FM大阪等の活躍中のDJ。ユニーク魅力的な女性。



曾根辰夫さん
「ソネ」ハウスバンドのベーシスト。理想のアーチストはレイ・ブラウン

曾根 スポーツの中ではスキーや

一番好きやね。やり始めて十年位

かな。ときどきジーンズ履いて滑

るよ。一月に競技スキーに出た。

若宮 かなり上手くないとなかなか

かジーンズでは滑れないわね。ミ

ュージシャンってマイナーに走っ

てしまう場合が多いけどターフは

中で定着してきたようやね。パティでジーンズってのもいい。

若宮 安いものでも高いものでもいいものはいいのよね。一点豪華

主義で高価なものを買う気持ちもわかるけど何故か浮いたような気がするの。こだわらないで自由な

曾根 DJは幅広い話題が要るね

若宮 そうなの。今、興味もつて

るのが釣にゴルフ、それと映画。

古い映画から新しい映画と一生懸命観てるのよ。世界中を回れて、

FAIR'Sのセレクトショウでしょ。とっても勉強になるわ。

若宮 私も家ではラフな格好だけ

ど外ではディスコ調やファッショナブルやら何でも好きなのを着てるの。ジーンズも暇なときにポケットの色を変えたりビーズをつけたり、コチヨコチヨするのが好き

曾根 ジーンズもファッショントイで定着してきたようやね。パティでジーンズってのもいい。

曾根 好きな音楽を仕事に出来る

のは幸せだけどそれだけに努力しないとね。テクニックはもちろん

だけど、ハートや味のある表現ができるよう頑張りたいな。

若宮 私は『若宮てい子』の個性

PLASUS神戸のセンスがキラリ、で

いきたいわ。何もわからずにやり

始めたから、毎日が新しいことば

かりの驚きなの。初心を忘れない

で常に感動する心、ウットとなる疼

きを大切にし続けたいわ。

★ジーンズも洒落たパーティ服さ

若宮 奥さんとペアルックなんて

いかがかしら。

曾根 似たようなスタイルにはす

●JOINT 情報●



3Fの特設ステージで唄う“狩人”

一日店長に狩人が!!

ジョインファンにクリスマスのビッグプレ

ゼント……若い女性に人気の狩人が、まだ

さしに続く第二号目の

一日店長として12月25日来店。サイン会や特

設ステージでの熱唱と

大いにサービスをくり

ひろげた。若者の店ジ

ョインのXマスラシ

い熱気につまれた楽しいひととき……、次々と柔情深い一日店長の企画があります。乞

ジーンクライアントストア・ショウント
jjoint
JEANING LIFE
三室・ジョイント
〒650-0014 横浜市生田区三宿町1丁目32番地

期待です。

毎水曜休み
AM 10:00 ~ PM 7:00
(3/21) 2046